＜先週の説教から＞

『ルツ記⑩ールツとマリア』

ルツ記 ２：１０～１３　ルカ福音書 １：４６～５５

長い間ルツ記を読み進めてきましたが、本日が最後となります。主の御支えに感謝します。今日はまさにこのクリスマスの時期、ルツ記全体を通し、ルツとマリアの各々の人生についてご一緒に思いを馳せることが出来ればと願います。

この二人は似ている状況がありました。ルツは、義理の母ナオミと一緒にモアブからユダヤのベツレヘムへと旅をします。同じようにマリアも婚約者のヨセフと一緒にナザレからベツレヘムへと旅をしています。ただ、ルツはそのナオミから『帰りなさい。どうしてついて来るのですか』と言われたのに一緒に旅を続けました。ヨセフは自分の身の覚えのない子供を宿したマリアに対して『ひそかに縁を切ろうと決心する』ほどでした。つまり二人とも同行者と必ずしも良い関係ではないままに旅を続けてベツレヘムに着いたのでした。その後の様子も、マリアは散々、宿屋に泊まることを断られ、とうとう馬小屋で出産を迎えることになってしまいましたし、ルツも全く知らない町に来て、外国人であることで疎外され、しかも頼りのナオミは自分の不幸な状況に絶望するだけの状況でした。それでもこの若い二人は各々の状況を受け止め、自分に与えられた課題を果たしていきます。まさに二人とも“男の子を産む”ということを貫徹していくのです。

ルツが産んだ「オベド」は後にダビデ王の父となるエッサイを産む家系となり、マリアが産んだ「イエス（様）」はこの世界を救う救い主となっていったのでした。両方とも神様の“救いの歴史”に豊かに用いられていったのでした。このように二人はよく似ています。各々が、置かれた厳しい状況の中でも、神様のために力強く奉仕していったのでした。

この二人を支えたものは何だったのでしょうか？

勿論、何より“神様への信仰”であることは事実です。ルツはナオミに対して『あなたの神はわたしの神』『あなたを離れるようなことをしたら、主よ、どうかわたしを幾重にも罰してください』とその信仰の深さを言い表していますし、マリアも『わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように』と答えている言葉からもその信仰の強さを知ることができます。ただ、もう一つ、彼女たちの行動を支えたことがあったように私は思います。

それがルツとボアズの会話に表れています。ボアズがルツのことを評価して「主人が亡くなった後も、しゅうとめに尽くしたこと、両親と生まれ故郷を捨てて、全く見も知らぬ国に来たことなど、何もかも伝え聞いていました」と言い、それに対してルツは「あなたのはしためにも及ばぬこのわたしですのに、心に触れる言葉をかけていただいて、本当に慰められました」と答えています。自分のことをちゃんと見ていてくれて励ましてくれる存在が“そばに居る”ということがルツの心を支えていったのだということが良く分かる箇所です。そのような存在を神様が備えてくださったのです。

それはマリアも同じで「身分の低い、この主のはしためにも目を留めてくださったからです」と語っています。あなたこそと神様が評価し信頼して任せてもらったことに応えていきたいと願ったのです。この点が、二人とも厳しい境遇でも生き抜けた原動力の一つであったのではと思うのです。私たちのそばにも支え励ましくださる“主”が共にいてくださいます。同時に、この一年、私たちもそのような“誰かを励まし支える”側にいる存在となっていきたいと願います。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

◉聖書研究・祈祷会Ⅰ．　１月 12 日（水）20：00
　　Ⅱ．　１月 13 日（木）10：30

聖　　書：　エゼキエル書
祈祷主題：　説教題掲示奉仕者を覚えて
担 当 者：　（水）金刺　　（木）北條
祈 る 人：　栗原さん　　黒川さん
ハンナの会：1 月 11 日（火）10：30～

【教勢報告】

主日礼拝	男 25	女 53		計 78
祈祷会 Ⅰ.	男 6	女 4		計 10
Ⅱ.	男 2	女 12		計 14
日曜学校	幼稚科 4	小中科 9		計 13

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【次週礼拝】　１月　１６日（日）

聖　書：　ヨブ記　２３：１～１０
　　ヘブライ人への手紙 １：３
説　教：　「ヘブライ書② ― 神の右に座られる方」
　　武田 真治 牧師

讃美歌：　２２５（1）、３２、４３２（1）３９２（1）
　　２７

【次週当番表】

司式：坂田長老　奏楽:羽倉　礼拝:齋藤長老
献金：上松　大竹　　受付：鈴木　橋本
会堂準備：小杉　冨澤　長田　橋本
　　新元
看板：土門　　週報：吉岡　お花：羽倉

【次週集会予定】礼拝前：・求道者会　・聖書輪読会
礼拝後：・壮年会　・婦人会・ダビデ会・幼稚園理事会

週　報

2021 年度　教会標語

「信仰に支えられて、共に生きよう！」

２０２２年　　１月　　９日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**

牧　師　　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549
http://www.ageo-church.org/